

研究授業

皆さんの教室に、私が登場することがあります。そして、授業の最初から最後まで参観することがあります。それは、「研究授業」だからです。

先生方は、毎日、自分の授業をもっとよくしたい、もっとわかりやすい授業をしたいと思って授業を行っています。しかし、授業とはむずかしく、学級の全員の生徒が満足のいくようには、なかなかいきません。

そこで、野田中学校では、先生方がみんなでどうしたらよいかを考えています。年に何回かは、他の先生方に自分の授業を見てもらい、アドバイスをもらうようにしています。それが研究授業です。ときには、他の学校の先生方が参観にくることもあります。

私が参観する場合は、先生方の話す内容や話し方、授業の進め方などを見ています。その一方で、生徒のみなさんのことをよく見ています。「あの生徒は、部活動でも頑張っているけれど、授業中もいいなあ」「あの生徒は、なかなかいいことを言うなあ」「あの生徒のノートはきれいだな。よくまとまっている。工夫されている」「あの生徒はタブレットを使いこなしているなあ」「あの生徒は、大きな声で発表できるなあ」

みなさんの授業を見てみると、どの学級も落ち着いた雰囲気、授業に集中できています。これなら学力がついていくだろうと期待できます。

一つ気になっていることがあります。もしかしたら、私が教室に来たからといって姿勢をよくしなければならぬと思っている人はいないでしょうか。いつもは、もっと自由な雰囲気で活発に意見を言っているのに、ちゃんとしなければと思っている人はいないでしょうか。

いくら姿勢がよくても、考えることができなかつたり、意見を書いたり、言ったりすることができなければ、私はすばらしいとは思いません。それよりも、真剣にじっくりと考えたり、発言したり、書いたり、友達と活動したりするほうが、望ましい姿だと考えています。特に、どのくらい書けるかは、そのまま学力に結び付きます。

今までの研究授業では、私に声をかけられた人がたくさんいました。それは、みなさんのことを認めてのことです。これからも先生方の研究授業は続きます。特別に張り切る必要はありませんが、ぜひ生き生きとした姿を私に見せてください。そして、たくさん声をかけさせてください。楽しみにしています。